

製品名: NAPSA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82384**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45.4kDa

抗原情報

遺伝子名	NAPSA
別名	KAP; Kdap; NAP1; NAPA; SNAPA
遺伝子 ID	9476.0
SwissProt ID	O96009
免疫原	ヒト NAPSA の合成ペプチド (AA: KPIFVPLSNYRDVQYc)。

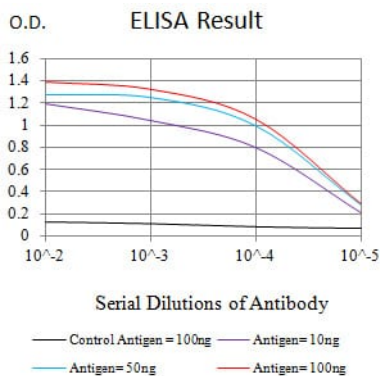
背景

この遺伝子は、アスパラギン酸プロテアーゼのペプチダーゼ A1 ファミリーのメンバーをコードします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって活性化ペプチドと成熟プロテアーゼを生成します。アスパラギン酸プロテアーゼの活性化ペプチ

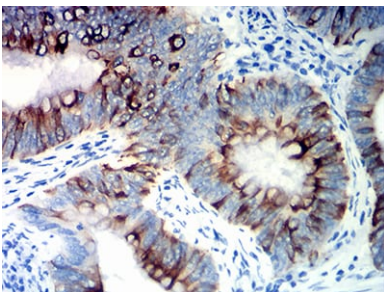
ドは、プロテアーゼ活性部位の阻害剤として機能します。これらのペプチドセグメント（プロパーツ）は、アスパラギン酸プロテアーゼチモーゲンの正しいフォールディング、標的化、および活性化の制御に重要であると考えられています。コードされているプロテアーゼは、肺における肺サーファクタントタンパク質 B のタンパク質分解処理に関与している可能性があり、腎近位尿管におけるタンパク質分解にも機能している可能性があります。この遺伝子は、肺腺癌および腎細胞癌のマーカーとして報告されています。

研究分野

画像データ



黒線：コントロール抗原（100 ng）；紫線：抗原（10 ng）；青線：抗原（50 ng）；赤線：抗原（100 ng）



NAPSA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。